

2020/7/14-3

(うとQ夜話「ストップ ザ 空回り」) 本日より「うときゅういっき」改め「うとQ」に。
気力、体力、時の運。

この三つが重なった時に運気が開ける。

ところがこの「成功の方程式」に照らしてみても、今の自分の場合、在るのが「気力」のみで
「体力」と「時の運」がない。

この後者二つがない場合、何が起こるかといえば、気ばかり焦る「空回り」
暖簾に腕押し、徒手空拳、二十日鼠の円形回転籠内での無限マラソンを思い浮かべていただ
ければ皆さんにも想像がつくと思います。

で、上述の運気を再獲得するためには、

「気力」を維持しつつ

「体力」の回復を図り

「時の運」の到来を待つ

しかありません。

要するに

「希望を失わず、十分に休養を取り、撒いた種の芽が出て、先様からお呼びがかかるのを焦
らず、ゆっくり待つ」

それを一言で言い換えると

「辛抱」

「辛」さに耐えつつ、放擲することなく敢えて「抱」え続け「時の運」が、「時」機を得て、
それこそ向こうから「運ばれて」くるのを待つことが「辛抱」

又は「時運辛抱」とも。

以前にも申し上げましたが

「忍耐」はじめ「辛抱」という言葉は奴隸の如き「忍従」とは全く違う「希望損失」をミニ
マイズし「時機到来」即ち「運」を逃さず掴むための最高の「経営戦略」

そう思えるからこそ今コロナ禍においても「落胆失望」せずにいられるのかもしれない。